

放送視聴票 第7回 (bijyutu202513 + bijyutu202514)

■ bijyutu202513 : アートと社会

【社会に働きかけるアート】

アートは自己表現にとどまらず、社会や他者とのつながりを生み出す力を持ちます。

オノ・ヨーコの「チェス・ピース」では、駒も盤もすべて白でできており、対戦相手と協力しないとゲームが成立しません。

このように、作品に触れる人の行動や意識を変えることで、社会に影響を与えることができます。

【参加型アート】

観客が作品の一部となる参加型アートでは、アートを通してコミュニケーションが生まれます。

草間彌生の「オブリタレーション・ルーム」では、真っ白な部屋に来場者が自由にシールを貼っていくことで作品が完成します。

鑑賞と表現の境界がなくなり、アートが「共有される体験」となることが特徴です。

【日常とアート】

身の回りの風景や人との関わりも、見方を変えればアートになりえます。

現代のアートは「作品を作ること」だけでなく「問いを投げかけること」にも価値があります。

あなた自身の問いや視点が、社会に何を伝えられるのかを考えてみましょう。

■ bijyutu202514 : アートの可能性

【アートが心を支える】

現代社会にはストレスや孤独、不安といった課題があふれています。

そんな中で、アートには「癒やし」や「つながり」を生む力があります。

アートセラピーでは、色や形を通じて自分を表現することで、自分自身と向き合い、心を整理することができます。

【医療とアート】

病院や高齢者施設などで行われるアート活動は、治療や介護の現場でも注目されています。

言葉にできない思いや感情を、表現することで外に出すことができ、患者とのコミュニケーションにも役立ちます。

誰もが「表現する力」を持っているということを、アートは教えてくれます。

【未来を描く】

AIの登場や環境問題など、今後の社会にはさまざまな課題が待ち受けています。

そんな未来に対して、アートは「想像する力」「問い続ける力」として重要です。

芸術は、まだ見ぬ可能性を描き出す力。自分の視点で「こうだったらいいな」を表現することが、未来を切りひらく第一歩になります。